

若郷漁港に船客待合所とトイレ実現へ

原田あきら都議会議員に離島港湾部長が答弁

日本共産党新島支部・式根島支部では、島民の暮らしを守る立場から、共産党都議会議員とともに活動してきました。

以前から若郷漁港にジェットフォイル船が接岸できる栈橋など港湾の整備についても繰返し要望してきましたが今回、東京都議会の各会計決算特別委員会分科会で日本共産党の原田あきら都議会議員の質問に対し、都港湾局が若郷漁港のトイレ設置計画について明らかにしました。

若郷漁港は東海汽船のジェット船が波で新島港に接岸できない場合に接岸していますが、年間通じて接岸することが多くなっています。しかし、ここには待合所もなくトイレは漁協の離れた所のトイレを使用させていただいている状況で利用者からも設置を求める声が上がっていました。

原田都議は、船客待合所の設置を要望、現状はどうなっているのかを質問しました。



若郷漁港に入港するジェットフォイル船

原田都議に対し都港湾局離島港湾部長は「船客待合所の設置を計画し設計に着手している。トイレについては待合所完成までの間、仮設トイレを設置する」と答弁しました。

これに対し、都議は「仮設トイレであってもイベントや工事現場で使用するような簡易的なものでなく、しっかりしたものを設置してほしい。そして、トイレの管理については役場や島の負担とならない形が望ましいと考えるが」とただしたのに対し、「今後、仮設トイレについては他港でも採用されている維持管理の容易なバイオトイレ（微生物による有機物の分解によって処理をする環境にやさしいとされるトイレ。コンポストトイレともいう）などを検討している。管理については現地の支庁出張所で行う」と回答がありました。

新島支部・式根島支部では、綾とおる新島村政対策責任者を先頭に都議会議員とともに頑張ってきました。今後とも島民の暮らしを守るために頑張ります。